

東北会女性会計士委員会研修会及び懇話会 開催報告 (2/8)

東北会女性会計士委員会副委員長 吉岡 順子

令和7年2月8日(土)13時より、「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)推進と地域貢献・まちづくりについて～自身の経験を踏まえて～」をテーマに、ハイブリッド型の研修会を昨年に続き開催いたしました。

今回は、会場13名・リモート20名の多くの皆様に参加いただきました。東北会のみならず、全国の11地域会(北は北海道会、南は北部九州会)から、リモートで参加していただきましたことは、主催者冥利に尽きると感謝しております。ご参加いただきまして、ありがとうございました。

講師は、株式会社仙台三越 代表取締役社長である小宮 仁奈子(こみや になこ)氏をお招きし、就職活動から現在に至るまで、ご自身の半生を振り返りながら、職場での多様性、公平性、包摂性を、どのように推進してこられたのかについて、ご講演いただきました。小宮社長のエネルギー溢れる語り口に、参加者一同、ぐいぐい引き込まれていき、あっという間に時間が過ぎていきました。

日本を代表する小売業である株式会社伊勢丹に入社された際には、高卒、高専卒、短大卒、四大卒という複数の学歴・年齢の社員から構成される中で、学歴は高卒でも、四大卒のご自身よりも、業務経験が勝る先輩や、男性上司に対して、どのように接して、キャリアアップしていったのか、大変具体的に事例を挙げて、ご説明いただきました。

中でも、印象に残りましたのは、管理職として、部下との対話を重要視し、多くの時間を割いてこられた小宮社長ですが、部下から愚痴だけを聞く、すなわち共感・共聴だけをするのではなく、部下が訴えるトラブル・お客様のクレーム等を聞いた後で、「じゃあ、あなたはどうすれば、そのトラブル(ないしクレーム)を解決できる(予防できる)と思う?あなたの考えを教えて。」「あなたの考える解決方法がいいと思えば、それを実現できるように私が支援するから」と投げかけ、部下が主体的に問題を解決するため、思考する習慣を身につけられるように仕向けたというエピソードです。

平成29年度からスタートした女性会計士委員会は、今年度で8年目を迎えました。今後も引き続き、女性公認会計士の活躍を促進するとともに、当該推進を通じて公認会計士の社会貢献をより一層推し進めることを目的としております。東北会女性会計士委員会では、これからも引き続きイベントや研修会を開催いたしますので、多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

【プログラム】

I 研修会「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)推進と地域貢献・

まちづくりについて～自身の経験を踏まえて～」

- ・開会挨拶 日本公認会計士協会東北会 会長 堤 研一
- ・講師 小宮 仁奈子 様(株式会社 仙台三越 代表取締役社長)
仙台市ダイバーシティ推進会議委員、仙台ロータリークラブ会員
- ・閉会挨拶 日本公認会計士協会東北会 幹事(女性会計士委員会担当) 小山 かほる

II 懇話会

<講師>小宮 仁奈子 様



<東北会>堤 研一 会長



左から富田亜紀委員長、小山かほる幹事、吉岡順子副委員長



研修会の様子



質疑応答



懇話会の様子

